

# 地下水利用ポテンシャル図

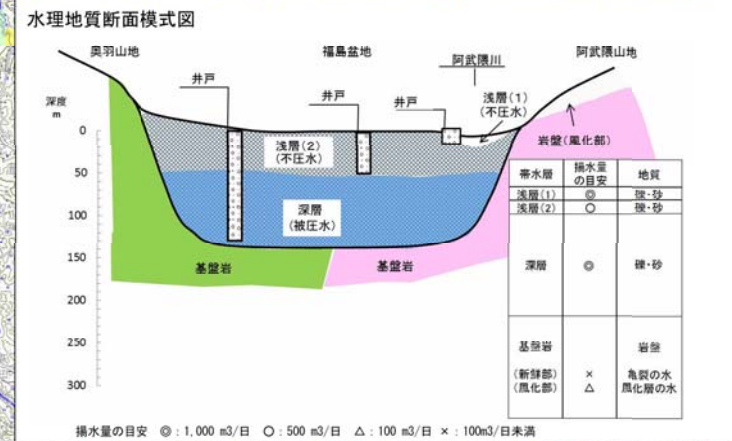
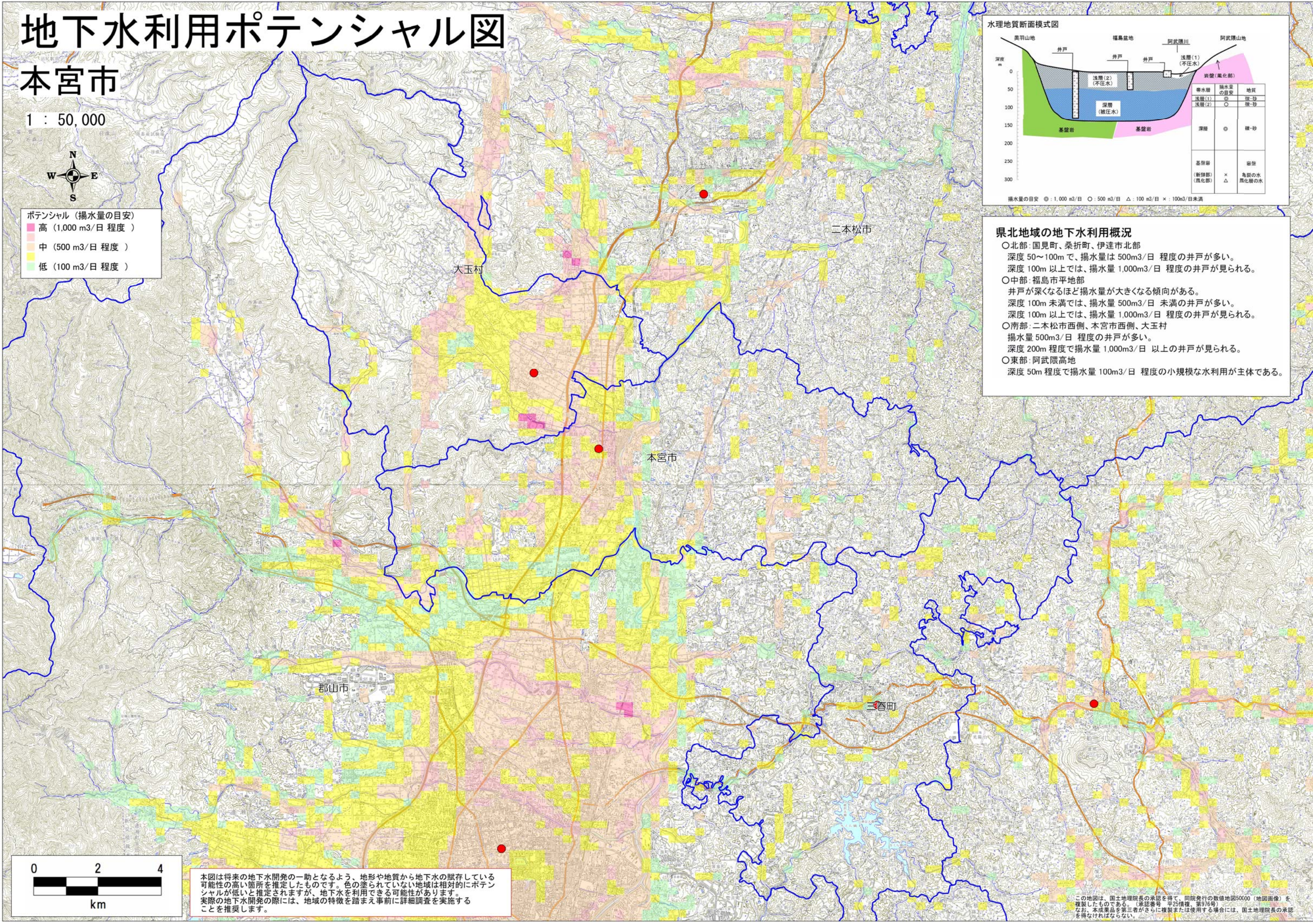
## 本宮市

1 : 50,000



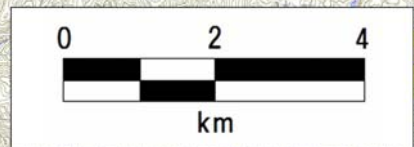
ポテンシャル（揚水量の目安）

- 高（1,000 m<sup>3</sup>/日 程度）
- 中（500 m<sup>3</sup>/日 程度）
- 低（100 m<sup>3</sup>/日 程度）



### 県北地域の地下水利用概況

- 北部: 国見町、桑折町、伊達市北部  
 深度 50~100m で、揚水量は 500m<sup>3</sup>/日 程度の井戸が多い。  
 深度 100m 以上では、揚水量 1,000m<sup>3</sup>/日 程度の井戸が見られる。
- 中部: 福島市平地部  
 井戸が深くなるほど揚水量が大きくなる傾向がある。  
 深度 100m 未満では、揚水量 500m<sup>3</sup>/日 未満の井戸が多い。  
 深度 100m 以上では、揚水量 1,000m<sup>3</sup>/日 程度の井戸が見られる。
- 南部: 二本松市西側、本宮市西側、大玉村  
 揚水量 500m<sup>3</sup>/日 程度の井戸が多い。  
 深度 200m 程度で揚水量 1,000m<sup>3</sup>/日 以上の井戸が見られる。
- 東部: 阿武隈高地  
 深度 50m 程度で揚水量 100m<sup>3</sup>/日 程度の小規模な水利用が主体である。



本図は将来の地下水開発の一助となるよう、地形や地質から地下水の賦存している可能性の高い箇所を推定したものです。色の塗られていない地域は相対的にポテンシャルが低いと推定されますが、地下水を利用できる可能性があります。実際の地下水開発の際には、地域の特徴を踏まえ事前に詳細調査を実施することを推奨します。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平25情標 第916号）  
 なお、本成果品を第三者がさらに複製または使用する場合には、国土地理院長の承認を得なければならない。